

平成30年度 取組目標 通年評価

1 校務分掌（その1）

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法	評価	一年間の反省・課題	次年度の具体的な取組み方法
教務	①校務支援システムの活用	①校務支援システムの運用をよりスムーズに行い、効果的な活用ができるよう、マニュアル整備など職員をサポートを行う。	4	定期考査前には、校務支援担当からの取扱い指示や、データ入力・マニュアルの案内指示等、その都度丁寧かつ適切に行えた。また、成績等証明書や過年度生徒情報の統計作業等においても、適切かつ迅速に取り扱ってきた。	①引き続き同様な処理で運用しながら、全職員がスムーズに活用できるようにする。
	②読書活動の推進	②「朝の読書」活動を中心とした読書活動を推進し、生徒の図書室利用度を向上させる。	4	読書タイムは、予定通り実施できた。図書室の利用促進においては、開館の予定表など定期的に作成し、適切に掲示を行った。また、読書イベントを例年通り実施し、成果を上げた。	②次年度も、学級文庫の貸し出しや、新刊案内などを行うことで、読書の推進に努めたい。
	③積極的な学校行事等の情報提供	③学校行事や式典、表彰等について、速やかに報道提供を行う。	3	校外活動については、適宜、教育委員会へ情報提供できた。校内行事においては、行事の特性に配慮し、ケーブルテレビ等への情報提供を適宜行った。HPの更新については、更新の対象となる事象の内容や、画像の適性、更新手続きの特殊性などが伴うためタイムリーな更新ができなかった。	③次年度も、速やかに最新情報が発信できるよう、努力と工夫をしていきたい。
研究企画	生徒が学校生活に意欲的に取り組めるように授業研究とTSPミーティングの充実をはかる。	①授業研究に道徳的視点あるいは人権教育的視点を取り入れ、生徒の感情を尊重しながら、人権感覚を養わせる授業を目指す。	4	①それぞれの教員が、生徒ひとり一人に配慮し、個に応じた指導を実践している。授業アンケートの結果を見て特に問題はない。	来年度も実践目標を達成できるよう先生方に呼びかけていきたい。全教員の共通理解のもと、引き続き継続させていきたい。
	①道徳的、人権教育的視点を取り入れた授業研究の実践	②教材等や授業展開を工夫することによって、生徒に関心を持たせ、活発かつ円滑な生徒主体の授業(アクティブラーニング)の実現を目指す。	4	②多くの授業で、生徒の主体性を引き出す工夫が見られ、教師・生徒間におけるコミュニケーションも活発であり、受け身の授業から脱却しつつあることは授業アンケートからもうかがわれた。	今後はアクティブラーニングと従来型の授業の良きバランスが望まれる。各種研修会の案内も今年同様各教科に紹介していきたい。
	②生徒主体の授業の実践 ③TSPミーティングの充実	③議題の精選に努め、TSPミーティングの充実をはかる。	4	③本年度は大雨警報が発令されたため、TSPミーティングは中止となった。	来年度も議題の精選に努めたい。
進路指導	「進路意識の高揚・希望進路の実現」に向けて以下の項目について実践する。	①企業訪問・学校訪問を積極的に行い、新規開拓も含めて受験先の確保に努める。	4	学科・学年団・ジョブサポートティーチャーの協力によって企業訪問・学校訪問を行い、生徒の応募先・受験先の確保をすることができた。 ※JSTの協力は大変大きい。来年度も是非お願いしたい。(一校内資料)	①人手不足により求人数は増加しているが、「生徒の希望に添った求人」を増やすために、今年度同様に精力的に会社訪問を実施する。
	①受験事業所・受験校の確保	②生徒の希望進路を考慮し、業者と連携をとりながら、各種のガイダンスを計画・実施する。また、生徒の実態にあわせて、進路意識の高揚につながるような進路情報を適宜提供する。	3	卒業生講話や進路ガイダンスに関しては、生徒のアンケート結果からその目標が達成できた事が伺えた。ただ、進路情報誌等の配布についてはその種類や時期などより効果的な配布方法を引き続き検討していく必要がある。	②今年度同様にガイダンスを実施し、生徒の進路意識の高揚に努めたい。進路情報の提供については、情報の質・量を精査しつつ本校生にとってより有効な情報提供を行いたい。
	②各種のガイダンスやHR活動(進路指導関係)の充実 ③面接指導・適性検査対策を十分に行う	③面接カードを利用し、複数の先生に面接指導していただく。また、一般常識&SPI対策問題集を利用し、HR担任と連携しながら適性検査対策を実施する。	3	多くの生徒が、さまざまな教職員と面接練習を行い、入社試験・入学試験を迎えることができた。適性検査対策についても、実際の試験に役に立ったという声が多く、その効果を感じることができた。 ※JSTの協力は大変大きい。来年度も是非お願いしたい。(一校内資料)	③面接カードは来年度も継続して使用し、複数の教職員で面接練習を実施する。 適性検査対策は、学年団と協議した上で、より実際に即した対策ができるよう使用教材の検討を行う。
生徒指導	①『挨拶の励行・服装の整備・時間を守る・清掃をきちんとする』等、基本的な生活習慣に対する意識の徹底と確立を図る。	①朝の校門指導を継続して行い、挨拶・遅刻・服装についての指導を行う。教員も積極的に声かけを行う。	3	挨拶は年度当初よりできるようになってきたと思われる。女子生徒の中でスカートの短い者やリップを塗っているものが増えてきた。様々な場面で気づいた教員が注意するようにしたい。遅刻については同じ生徒が繰り返すことが多くなかなか改善できていない生徒もいる。	挨拶についてはその大切さをしっかりと理解させ、学校外においてもできるようにしたい。服装については限られた教員だけでなく学校全体として取り組む必要がある。
	②生徒が安全で安心して学べる学校であること。そして、地域の人々からも信頼される学校であるように努めていく。	②いじめや盗難が発生しないように学年団・担任・教育相談部等と連携を図り、防止に努める。 いじめ防止委員会の充実を図る。	3	いじめ・盗難について集会時などで話す機会を設けた。しかしながら、些細なやり取りから人間関係を崩す事案も発生している。学年団・各科の縦横の連携も含め様々な角度から注意して生徒観察を行いたい。	教員のはじめ研修を充実させ、認知に対する基準の共通理解や事案発生時の対処能力をあげるようにする。 生徒会やHRにおいて、生徒主体の防止啓発活動を取り入れる。
	③道徳教育を継続し、相手を思いやる気持ちや感謝する気持ちが育めるよう努めていく。	③各種講演会・安全教室を実施し、思いやりの心を育てること、自己管理能力を向上させる。	3	予定している安全教室などは予定通り行えた。しかしながら、生徒がどれほど理解し行動できているかという点については不安な部分もある。	例年同じ内容での講演になっているので、新しい講師の発掘やその時に必要な内容を選びながら、生徒が意識を持って参加できる講演会や安全教室を行いたい。
人権・同和教育	①生徒の人権感覚を高め、人権課題を主体的に解決していく姿勢を養う。	人権・同和教育HRの教材・内容の充実を努める。先進校や他校の教材・指導案を参考にしながら、教材や内容の更新・充実を図る。生徒向け人権だよりを発行して、人権意識を高める。	4	人権だよりは予定通り発行できている。人権・同和教育HRの指導案の更新はできていないが、道徳教育HR2年生用の指導案を視聴覚教材を使用している指導案に改定できた。	多くの先生に人権だよりを執筆してもらう。
	②教職員の人権に関する知的理解を深めるとともに、人権感覚を養う。	研究会・現地研修会等の案内を積極的に行い、強く参加を呼びかける。より身近な話題を取り上げた教職員向け人権だよりを定期的に発行し、人権感覚の養成を図る。第三次取りまとめを参考にして、各教科の授業において、人権教育的な視点を取り入れてもらう。	4	研究会・研修会への参加は予定通りだったが、現地研修会は都合で参加できない職員が数名いた。日程を考える必要がある。研修会などの内容は、職員会議資料などで報告した。「人権だより」は予定通り発行できた。	②人権だよりという形式にこだわらず、なるべくタイムリーな話題を職員会議や職員朝礼で提供する。 できるだけ、多くの先生に人権だよりを執筆してもらう。
	③保護者に対する啓発を積極的に行う。	人権だよりを通して、人権啓発を行う。PTA総会で人権講話を行う。研究会・研修会等の案内を積極的に行い、参加を呼びかける。	3	「人権だより」は返信欄をつけて発行できたが、活用されていないようであった。四人研と指導者研修会には、保護者の方に参加してもらえた。	②・③人権だよりの発行回数を増やし、今まで以上にさまざまな話題の提供に努める。 人権だよりに保護者の感想欄を作りたい。

4 : よくてきた 3 : まあまあできた 2 : あまりできなかった 1 : できなかった

校務分掌（その2）

分掌名	実践目標	具体的な取組方法	評価	一年間の反省・課題	次年度の具体的な取組方法
特別活動	様々な学校行事（集団活動）、部活動を通じて、未来を支える健康・体力・コミュニケーション力を伸ばさせるとともに礼節をわきまえた社会に貢献できる人材育成を図る。	①部活動を通しての人間形成と各種大会での上位入賞 部活動での地域貢献活動	3	運動部・文化部ともに四国・全国大会出場を果たした。新チームの選抜予選会ではもう一步で全国を逃した部がある。来年度のさらなる活躍を期待したい。また、運動部・文化部ともに地域のイベントに参加・出演し、喜ばれた。特に志度小学校との交流活動で実施した応援練習が好評であった。	まずは部員数を増加させ、活気ある活動を行うことで学校全体の活性化につなげていきたい。また、多くの部活動で各種大会での上位入賞を目指したい。地域との交流活動も継続した取り組みをしていきたい。
		②志度高祭をはじめ多くの行事に生徒一人ひとりが主体的に参加し、より計画的な活動ができるよう指導・サポートする。	4	どの行事にも指導・サポートはできており、体育祭・志度高祭をはじめ様々な行事で主体的に取り組める生徒が増えてきた。志度高祭では台風で1日公開となったが臨機応変に対応できた。生徒会執行部も積極的な活動がみられる。欲を言えば生徒にはもう少し先を見据えて計画的に取り組んでほしい面はある。	志度高祭は来年度より公開日を1日に変更するが、内容はより充実したものになるよう企画していきたい。体育祭では準備期間が例年より短くなる。生徒会執行部には様々な行事で先を見据えた計画と行事準備の短縮や効率化を図らせたい。
		③エコ活動やボランティア活動に自主的に参加できる生徒の育成と地域への働きかけ	4	予定していた行事は好評であった。どの行事にも自主的な参加が見られた。交通安全キャンペーンを12月から10月に変更したのは天候・気温等から見ても好評であった。	来年度も引き続き実施したい。交通安全キャンペーンも10月実施の予定である。ボランティア活動にできるだけかかわる生徒が多くなるよう計画・実施していきたい。
教育相談	①関係者間の連携を密にして、生徒・保護者および問題を持つ生徒に関わる教員のサポートを行う。 ②相談しやすい雰囲気づくりを心がける。 ③現職教育を行う。	①担任または生徒や関わる職員・保護者・スクールカウンセラー間の連携を密にして、学校内外の情報収集・共有に努め、連携してサポートを行う。	4	今年度は、年度当初からのカウンセラーへの予約が入り、毎回時間いっぱい状態で稼働している。SCの時間制限がある中、できるだけ担任の負担を軽減できるよう、コンサルテーションの時間をしっかり確保する等工夫をしている。	次年度も時間調整等をして、SC・担任・関係職員間の情報共有に努め、連携したサポートを行いたい。 入学前アンケートも引き続き実施する。
		②教育相談便りを発行しスクールカウンセラー来校の日程等を伝える。1年生はSCとのグループカウンセリング、2年生は部職員による個人面談で教育相談的な問題を抱える生徒の早期発見・ケアを行う。	4	1年生のグループカウンセリングは、予定通り終了する。2年生の個人面談は、最終1月初めに終了し、特に気になる点を担任に連絡した。	1年生のグループカウンセリング、2年生の個人面談は継続したい。
		③特別支援教育の「LGBT」について教職員の研修を行い、共通理解を深める。	4	LGBT当事者の高野さんに講演をお願いした。内容的にも広く聞いてもらいたいこともあり、教職員だけでなくPTA評議員会でも参加を呼び掛けをした。	SCによる現職教育をお願いしている。実施時期・内容は現在検討中。
保健	生徒や職員の健康に配慮し、元気のある学校づくりを目指す。	4～6月、生徒の定期健康診断を行う。 ①各学年において正しい知識を理解させ、関心と責任を持たせる。 1年生:心肺蘇生法の講習会 2年生:歯の健康講話 3年生:青年期のメンタルヘルス	4	①1年生対象一日赤の指導員による心肺蘇生法の講習会 2年生対象一学校歯科医によるお口の健康講話 3年生対象一東讃福祉事務所 青年期の健康学講座 出前講座 全校生対象一熱中症の講話 毎年しているからか、ここ3年間は救急要請なし。 多い年は夏休みだけで4件あった。 いろいろな講習会、講演会を設けて健康について学ぶ機会となった。また、講演会后生徒からアンケートをとり、どの程度理解をしたか、また感想など書かせて生徒の意見を聞いた。	①4～6月に生徒の定期健康診断を行う。事後措置について家庭に連絡をしたがまだ未処置の生徒がいるので、今後も指導を続ける。 ②1年生対象一「心肺蘇生法・AEDの使用法の講習会」 2年生対象一「歯の健康について」 3年生対象一「青年期のメンタルヘルスについて」 全校生対象一「熱中症の予防と水分の取り方」 今年度、各学年対象に講演会を設けた。学年で講演会を設けると講師の先生が話を良く聞いてくれると誉められ、次年度も各学年で開きたい。 ③生徒を主体とした学校保健委員会を開催する。 インターネット利用状況と睡眠について継続調査していきたい。 ④職員対象一健康講話・メンタルヘルス相談・スポーツレクや調理
		②職員の体力・健康維持に努める。 職員健康診断の実施	4	②校長先生による「手打ちうどん教室」を開いていただき、こだわりのうどんづくりになった。男性の先生の参加もあり、職員同士の親睦が深まった。	
総務	①保護者(PTA活動)および地域、同窓会との円滑な関係を維持し、教育諸活動において多面的な協力を得られるよう発信する。 ②校舎・器具・備品等の丁寧な取扱を意識し、公共物を大切に使用することや整頓 することの意識を高揚・定着させる。	①関係各位に学校行事等の通知と積極的な参加を呼びかける。	4	保護者が参加できる行事(体育祭、志度高祭バザー等)に多くの保護者が参加して下さったことはたいへん有難く、円滑な関係が築けている証左ではないかと思われる。	引き続き学校行事等において協力を得られるよう呼びかけていきたい。また、評議員会の良き雰囲気作りにも努めたい。
		②清掃活動や係活動において、その意識を持たせる。	3	清掃活動では生徒の活動意識がやや薄れているように感じる。公共物を大切にすることは現在まで良好に感じる。清掃活動においては人に感謝するように物にも感謝する意識を持たせられることが今後の課題である。	公共物を大切にすることが落ち着いた環境のもとで生活できることに感謝する意識を持たせるために啓発活動をしていきたい。

4 : よくてきた 3 : まあまあできた 2 : あまりできなかった 1 : できなかった

2 学科

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法	評価	一年間の反省・課題	次年度の具体的な取組み方法
商業	専門高校としての特色を出し、社会人・学生として恥ずかしくない人材を育てる。	①ビジネスマナーの向上。	4	社会人招聘事業を3回行い、生徒の意識も高くなった。しかし、1年生にはその機会がなかったため、来年度以降の課題である。	次年度は、1年生のビジネス基礎の時間で、社会人招聘授業を行う機会を設ける。これにより、全学年でビジネスマナー研修を実施することになる。
		②検定合格率の向上と高度資格の取得。	2	全商検定全体の難易度が上がってきていることを考慮しても、全体的な合格率はあまり高くなかった。今後、進捗等も含め授業・課外等で工夫が必要だと感じている。	今年度の1年生全体の検定取得率が例年に比べて低かったため、来年度重点的に改善する必要があると感じた。進捗や課外で工夫していきたい。
		③進学先や就職先の充実。	3	進学・就職試験の合格率は高かったが、特に進学に関してはレベル的に安易な進学先へ流れる傾向があるので今後考えていきたい。	オープンキャンパスや職場見学会を積極的に活用するとともに、進路に対する意識付けを早くから行い、目標設定をさせる。
電子機械	基礎・基本を身につけさせ、検定・資格試験や技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒を育てる。また、卒業後は地域の産業界で活躍できる人材を育成する。	①基礎基本の充実。	3	①服装の乱れや提出物の遅れるものがまだ数名いた。	①丁寧な指導を継続していく。
		②検定・資格取得の向上。	4	②ジュニアマイスター受賞者が、特別表彰10名、ゴールド14名、シルバー12名と昨年より多くの者が受賞できた。また、理事長賞が3名受賞できた。	②ジュニアマイスター受賞者のゴールド以上を増やしたい。
		③ものづくりの技術・技能の向上。	4	③ロボット・溶接コンクールへ出場したり、技能検定を取得するなどものづくりの向上がみられた。	③全国大会での上位入賞を狙いたい。
情報科学	高校生として社会に対応できる人間教育を行い、技術・技能の向上に積極的に取り組む生徒を育てる。	①生活習慣の基本を身につけさせる。	4	①服装の乱れや一部の生徒を除いて遅刻・早退等も少なく、全体的に良い。	①丁寧な指導を継続していく。
		②資格・検定等の受検率および合格率の向上を目指す。	3	②資格試験に多くの者が挑戦した。今後も計画的な指導を続けていく。	②合格率の向上を目指して、計画的な指導を継続していく。
		③就職・進学(電気系・情報系)の幅を広げる。	4	③インターシップ先の事業所を増やし、また求人職種では情報系もあった。今後も地道に、就職・進学先の開拓を続ける。	③地道に、就職・進学先の開拓を続ける。

3 学年団

分掌名	実践目標	具体的な取組み方法	評価	一年間の反省・課題	次年度の具体的な取組み方法
3年団	生徒の進路実現	①基礎学力の充実	3	①進路決定後、成績面で崩れた生徒が見られた。一方、進路決定後も資格試験に積極的に取り組む生徒も見られた。	①資格試験や検定を積極的に取らせるなど、進路決定後も新たな目標を持たせることが重要である。
		②マナー教育	3	②さまざまな先生方にきめ細かい指導をしていただいた。	②教員間の共通理解と個々の生徒との信頼に基づく人間関係の構築が大切である。
		③面接指導の充実	4	③学年団、学科、教科等の先生方のおかけで面接指導を充実させることができた。	③生徒自身に自覚を持たせるため、粘り強く継続的に指導することの重要性を強く認識した。
		④進路決定後の生活指導	2	④落ち着いた生活態度が保たれた生徒が大半であったが、進路決定後、欠席、遅刻等が増えた生徒も一定数いた。	④欠席、遅刻等が少ないというのが生活指導の基本であるということが再認識された。
2年団	①充実した学校生活の実現	①学習活動、時間厳守、清掃活動、服装整備、挨拶励行	3	周囲への配慮に欠ける言動が一部に見られたが、指導により改善がみられた。学校行事をとおして集団生活のマナーの大切さを経験し、責任を自覚した行動ができる生徒が増えた。	学年集会などの機会をとらえて最上級生であることを意識させ、充実した高校生活となるよう、自覚をさらに促す。
	②資格・検定取得へ積極的に取り組む	②生徒個々の目標や計画を立てさせ、今何をすべきかを考えさせる。	4	各学科に応じた指導ができた。	生徒個々の適性に配慮した指導を適切に実施する。
	③進路意識の向上と実現へ向けての準備をスタートさせる	③計画的な学習活動や情報収集を積極的に開始させる。	4	3年生に向けて、生徒個々の意識が徐々に向上してきた。	生徒が主体的に、自分の進路を実現できるよう、個々の適性に配慮した指導を心がける。
1年団	①全員が居心地の良い学校	①他人を尊重し、人を思いやる心を育てる。	3	不用意な言動から人間関係のトラブルへとつながるような事例が減少したので、前期よりは高い評価とした。	あらゆる教育活動の中で人権教育を充実させるとともに、生徒と触れ合う機会をできるだけ作る。
	②落ち着いた学校	②挨拶・服装・清掃・時間厳守の徹底など規範意識を持たせる。	3	おおむね良好であるが、あいさつについてはまだまだ改善の余地がある。	社会生活を送る上での基本中の基本であることを自覚させ、様々な機会を通して指導していきたい。
	③学力の向上	③検定取得等の高い目標を持ち、計画的に学習する態度を養う。	3	検定取得や資格取得に向けた意識が高くなり、取り組みも積極的であったので、次年度へとつなげたい。	進路に対して具体的な目標を持つことが、学習に対する意欲の向上につながると思われる。また、学習内容のレベルアップを意識させ、学力の深化をはかりたい。

4 : よくできた 3 : まあまあできた 2 : あまりできなかった 1 : できなかった